

- 1 日時 平成30年6月23日（土）午前10時～11時40分
- 2 場所 筑波交流センター2階 多目的室
- 3 出席者 都市計画部次長兼公有地利活用推進課長、
公有地利活用推進課課長補佐、係長、係員2名
- 4 参加者 57名

5 内容

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 調査結果

ア 庁内ニーズ調査の結果について

イ 民間事業者を対象としたニーズ調査の結果について

ア、イについて、別紙説明会資料及び別紙1～3を用いて、説明した。

(4) 質疑・意見交換（●：参加者、○：市）

- 地域の声をよく集めてほしい。作岡では、周辺に公共施設がなく、区会総会などで集まる場所は大穂や吉沼になる。いろいろな活動が出来る地域拠点として使いたい。
→○作岡小はIs値の低さが課題である。増築した教室棟Ⅱは新耐震だが、未耐震の教室棟Ⅰと続いている施設であり、別棟利用できるようにはなっていない。8校の小学校跡地の利用に関して、各学校区で意見・アイデアを伺う場を設けて、地域の意見を集めたい。
- 小学校PTA会長OBで、子ども・親・地域の方々の拠点づくりを考えており、以前、提案の要望書を出した。筑波地区は自然が豊かだが、子どもの密度が低く、外で遊ぶ姿を見ない。そこで自然の中で自由に遊べる場所づくりを考えている。以前は、市による設置を考えていたが、先進地事例では、NPO法人等が運営しているようなので、自分たちで動いていくことを考えている。
→○いただいた提案を紹介しながら、地域の意見を聞いていく。
- この場所には水守城址がある。復元可能ではないかと思う。また学校施設は、いろいろな体験ができる施設として、利用してほしい。
また、1,500㎡の実習田として使っていた場所（坂の下。）があり、田水山小学校に賦課金を課していた。土地改良区、教育施設課にも話済みである。今後、誰が維持していくのか。
→○確認する。

- 筑波特別支援学校は、200人規模だが、400人が通っており、過密状態である。茨城県が八郷に特別支援学校を整備しており、筑波の子どもたちも八郷が校区になると聞いている。近所の方で、つくば特別支援学校に通い続けるため、市内中心部への転居を検討している方もおり、地域から人が出ていってしまう。耐震基準を満たしている学校を支援学校として利用してもらいたい。日立市では、市立の支援学校もある。
- 筑波地区は八郷が学区になるということは聞いている。また荃崎地区では、伊奈の支援学校へ通学している状況である。今後、地域の意見を聞き、検討を進める参考にする。市の担当部局には、本意見について伝える。

- 地域毎の意見を聞いていると、地域ごとに使い方がバラバラになっていってしまう。筑波地区全体で10校をどのように利用していくかを考えていないのか。
- 筑波地区の中で市街化区域にある小学校は北条小と小田小のみである。周辺の市街地振興は別の部署で動いて勉強会等を実施している。市街化調整区域にも数多くの団地や集落があり、全体的にどのようにコミュニティを維持していくのか考えながら、つくば市全体としてどのようにまちづくりを進めていくのかを併せて検討を進めているところである。学校それぞれの地域の特性や都市計画上の規制等あり、すべてが同じ使い方はできないと考えている。また、地域に求められる使い方（地域で利用する。民間に使ってもらう）が、地域のためになると考えており、地域の意見を伺いたいと考えている。

- 学校は子どもが集まって勉強するだけの場所ではなく、共同体として地域の人結び合って生きていくのに大変重要な場所である。現状、地域から攫われるかのようにバスで学校に通っており、大きくなったときにこの地域に住み続けたいと思えるか疑問である。市から地域に働きかけて、学校跡地を共同体の中心になっていくように働きかけてほしい。今後地域とどのような形で協議を重ねていくのか具体的に教えてほしい。
- 市としてもコミュニティの中心として重要な場所と認識しており、コミュニティの拠点や地域活動の場として使ってもらうことも想定しており、地域の方々の話を聞きながら跡地活用の検討を進めていきたい。本年度中に8校の小学校については、地域の区長さんに声をかけ、意見交換をしたい。

- 3つ聞きたい。筑波小学校は土砂災害区域に指定されていたかと思うが、その記述がないが解除されたのか。西武の改修に22億かかる試算が出ていたが、

市は学校跡地の耐震化にお金をかけるつもりがあるのか。市としての筑波地区全体をどうしていきたいのか戦略が見えない。全体戦略の中に地域それぞれの要望に併せて、利活用を考えないとちぐはぐな街になってしまう。北条は特に、保育所、小学校、中学校がなくなり、国道 125 号バイパスの整備もあり、北条の環境は変わっていく。そこに都市開発のビジョンが必要だと思っている。市のコンセプトを明確に出してほしい、またはコンセプト作成段階で地域と話し合いをしてほしい。

→○まず西武の改修の話は決まったわけではない。北条保育所については、新たに場所を変えて、北条幼稚園跡地に新築し、北条小学校のプール用地を駐車場とすることを検討している。耐震化については、利活用策が決まれば、耐震化も行う。現状の利活用が決まっていない状態では、耐震化は行わない。筑波地区のビジョンについては、都市計画マスタープランにおいて、市の魅力として筑波地区の筑波山、小田の宝篋山や北条と併せて観光レクリエーションゾーンとして人が集まる場所として位置付けている。関連付けて跡地活用も検討できると考えている。本日、細かい説明はできないが、地域の方の意見を聞く場では、都市計画マスタープランや未来構想など、市の計画なども情報提供しながら一緒に考えていきたい。

→●都市マスタープランなども見ているが、主に筑波東中の校区のことは出てくるが、西中校区はあまり出てない。個人的には、作岡から田水山にかけての田園風景が好きである。そういったところにも触れられていない。大枠はわかるが、観光や見せ方については、具体的にどうすればいいのかわからなかった。

→○都市マスタープランは基本構想として、全体的な話となっている。市においても、例えば、観光推進計画、農業振興計画など、さまざまな計画がある。総合的に考えていきたい。

●先行事例等たくさんあると思うが、そういったものを紹介してほしい。そうすれば、話題も広がると思う。運営主体は誰かなど事例を出してほしい。今日来ている方は区長等が多いと思うが、PTA 等若い方への呼びかけもお願いしたい。

→○参考事例は提供できるようにしたい。最初にお声掛けするのは区長になると思うが、地域の方々、子どもや中学生が参加してもいいと思っている。ご協力お願いしたい。

●10校が一度に廃校になるのは、全国的にも稀なことだと思う。私も72歳だが、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると言われている。子どもが親の面倒を見る時代でもなくなった。耐震基準を満たしている学校施設を、高齢

者福祉施設にしてほしい。

→○筑波、荃崎地区の高齢化率は3割となってきた。高齢福祉施設については、全体を検討していくなかでご意見を参考にしていく。

●各地区に公民館等があるが、大抵が畳である。利用者が高齢になり、床、畳の環境が辛くなっている。もしテーブルやパイプ椅子があれば、払い下げてもらえないか。

→○それぞれの学校にいろいろ備品がある。教育局に伝える。

●利活用を検討するうえで、敷地の権利関係はどうなっているか。

→○筑波東中、北条小学校に一部借地がある。地主さんとの調整が必要と認識している。

●廃校となった後の指定避難所の対応はどうなるのか。

→○夜など学校施設に人がいない状況でも避難所は開設する。市の防災計画に基づき、各部署が対応することになる。閉校前と何も変わらない。

●跡地が再利用されるまでの草刈など管理体制は、どうなっているのか。

→○施設の管理は、教育局が行っている。施設侵入を防ぐための機械警備が入っている。

草刈は教育局で年2回実施している。

●学校区毎に意見を聞く場を設けるのはありがたいと思う。10校の跡地を全体的に俯瞰し、より良いものにしていくための学識経験者等を含めた委員会があるといいのではないかと思う。

→○まずは、それぞれの地域と意見交換しながら、地域毎の意見を情報提供しながら協議していきたい。学識経験者等を含めた検討委員会もゆくゆくは必要になってくると感じているが、まずは、地域の意見を聞く機会を設けて協議していくやり方で進めていきたい。

●学校跡地を利用して筑波地区全体をプランニングする様な企業もあり得るのではないかと思うがいかがか。

→○民間事業者の提案内容をこちらから制限していないが、全体的に利用したいという事業者は出てこなかった。またこちらも全体を考えた計画はないかという聞き方もしていない。今後の検討の参考にしていきたい。

(5) 閉会